

多職種連携教育 模擬カンファレンス～公開担当者会議～

演題名	多職種間連携教育 模擬カンファレンス～公開担当者会議～
-----	-----------------------------

概要

多職種との連携をすることは在宅医療を行う医療人には必須のコンピテンシーである。しかしながらその教育は卒前・卒後教育でも十分とはいえない状況にある。世界的にも 10 年以上前からこの領域の教育に関しての関心が高くなっており、多職種間連携教育 Interprofessional education (IPE) として注目され、カリキュラム改革の大きな波が来ている。

演者の勤務するセンターでは、たまたま多職種の学生が実習にきていることもあって、試験的に 5 年前から多職種の研修生をごちゃまぜにした教育セッションを企画したところ大きなインパクトがあった。具体的には 2 時間ほどのプログラムで、実際の事例に基づいて症例提示をして、4-6 名の研修生がグループになってアセスメントとプランを立てて発表する。その中で交流をして連携の醍醐味や楽しさを経験する。その様子を現職がオブザーバーとして学ぶといった構成になっている。<http://jnapcdc.com/nt/286/dg/index.html>

オブザーバーである現職にとってもこうした IPE セッションのインパクトがあることを感じたので、医師会と介護支援専門員の合同研修会で実際のシナリオに基づいたロールプレイを柱にした教育セッションを企画したところ、大きな効果をあげた。

http://www.igaku-shoin.co.jp/paperDetail.do?id=PA03006_02

今回は、複数の職種で構成したグループ毎にシナリオに基づいた在宅場面での担当者会議（模擬カンファレンス）を再現してもらい、その IPE について体験してもらいます。オブザーバーとしても参加可能です。多職種連携の研修を企画する立場にある方、職場で複数の実習生を抱えている皆さま、マンネリ化した研修を何とかしたいと考えている皆様には何かしらのヒントが得られるかも知れません。

なお当日は揖斐川町、池田町、岐阜市の多職種の仲間がサポーターとして登場する予定です。